

平成 24 年度定例総会 議事録

1. 日 時 平成 24 年 4 月 21 日 (土) 14:00-17:30
総会 (14:00-16:10)、懇親会 (16:20-17:30)
2. 場 所 エリンサーブ 3 階会議室
3. 出席者 メンバー 23 名
4. 議事内容
 - 1) 高橋榮一さんが選ばれ議長となり、定刻に開会
 - 2) 議長より、出席者 23 名・委任状 7 名で総会成立が宣じられ、各議案の討議に入る
 - 3) 1 号議案：23 年度活動報告が宮本代表より報告され、異議なく承認を得た
 - 4) 2 号議案：23 年度決算報告が代表より報告された。監査報告は当日監査役が欠席のため、高橋議長より代行報告、異議なく承認を得た
 - 5) 3 号議案：24 年度役員構成案につき代表より提案、異議なく承認を得た
 - 6) 4 号議案：24 年度活動方針が代表より示され、フォーラム非開催については若干の議論があったが、原案で承認を得た
 - 7) 5 号議案：24 年度予算案が代表より示され、原案通り承認を得た
 - 8) 24 年度例会運営につき、代表より提示があった※注 (添付) 24 年度方針・役員構成・例会運営方針・定例会年間日程計画
5. 講 演
『神戸市地球温暖化防止実行計画について』と題して、
神戸市環境局地球環境課 中西寛光様の講演が 1 時間行われた。
冒頭、東日本大震災前の計画で現状にややそぐわない部分があることの説明があったが、客観的状況、計画の基本方針は大変有用で、各メンバーは今後の活動の方向性、想いを再確認した。
6. 懇 親 会
メンバー 22 名、ゲスト 1 名で懇親会を行った。和気藹々とした雰囲気、自由闊達な意見交換や、新たな取り組みに向けたつながりなど有益な時間となった。

以上

報告：事務局 大嶋

平成24年04月21日

平成24年度活動方針

8年目、「地球温暖化防止の普及啓発」を基軸とした活動は定着し、文字通り行動ネットワークとしての働きをしています。ただ、関わる行政あるいは環境NGO/NPOの自立も著しく、アースパル自体の啓発件数は減っています。一方、『目標に沿った活動および一定の成果を納めるような持続可能な事業』も自主企画プロジェクトとして、一昨年度よりスタートいたしました。成果は、今一歩です。本年は基本に戻り、「地球温暖化防止の普及啓発」に一層磨きをかけた活動を中心に実施して参りたいと思います。

- ① 行政、環境NGO/NPOなどとのパートナーシップ連携の活動を推進していきます。
- ② 神戸市が推進する「家庭版エコマニュアル」（もったいないやん宣言・市民講師）や「神戸子どもエコチャレンジ21倶楽部」による、児童館、小学校やエコタウンとの連携を通じた活動を行っていきます。また神戸市では23年度から実施されている地球温暖化防止実行計画の、より実効性の高い施策と緊密な連携が必要と思います。
- ③ 大阪湾広域臨界環境整備センターを始めとするKEMS企業対象事業やUD（ユニバーサルデザイン）事業の中での環境教育を継続的に受け持っていきます。
- ④ 家庭の省エネ提案の一つとして「エコリフォーム」を提案し、有効な方策の普及の場を提供します。
- ⑤ 団体が9年目に入りましたが、普及・啓発としての対外活動を受け入れ、講座やイベント企画を継続します。その活動の中で、実効性のあるプロジェクトがある場合、予算措置とともに、取り上げて参りたいと思います。
- ⑥ 現在の活動の効果を上げる為に、必要な器材、教材等に工夫を凝らし、予算の中で充実させていきます。広報として引き続き、会報の発行と、HPを1ヶ月更新で新鮮な情報を提供していきます。
- ⑦ 今年度は、アースパルKOB E主催の「環境フォーラム」は実施しません。替わるセミナーを実施する予定です。

本年も、これまでと同様、経済と環境を両立した持続可能な社会を作るために「今だからできる」ことを提言、実践し、‘Think Globally & Act Locally!!’を基本モットーに、皆さんとともに次世代によりよい環境を残すよう邁進しましょう。

以上

平成24年度役員構成

2012. 4. 21

<2012年(平成24年)4月～2013年(平成25年)3月>

役 職		氏 名	備 考
代 表		宮本 光晴	総括（講座企画、 新プロジェクト担当）
執 行 役 員	調査研究リーダー	橋寺 立	普及/啓発資料の充 実・安部レポート
	催事普及・啓発リーダー	林 豊	イベント担当
	KEMS 啓発リーダー	高橋 榮一	環境市民会議担当・ 小学校連携担当
	事務局リーダー	大嶋俊英	助成金、 ホームページ担当
会 計		宮本 光晴	(兼任)
監 査		民安 邦久	
オ ブ ザ ー バ ー	会計補佐	長谷川 博	
	地域担当（主に灘、東灘）	藤田祥男	フェニックス 会報編集
	住環境技術担当	小坂勝年	リフォーム・断熱等
	顧 問	松井勝明	
	顧 問	須藤邦彦	

アースパル KOBE 今年度の活動と例会運営について

●アースパル KOBE の役割

=アースパル KOBE に何を求めるか=

①地球温暖化防止の普及・啓発を基軸として、市民と関わる

②成果のある目標を立て、行動することにより、一定の効果を得る

→①の方々：「各依頼先との連携」、「交流会」や「勉強会」を楽しく！

→②の方々：プロジェクトの提案・提言と企画・実行する

●神戸市や県や各団体からのイベント依頼（動員）や情報に関して、

=スタッフ集め・情報共有をどうするか？=

→イベント情報や参加連絡は事務局⇄メーリングリスト・BCC連絡とFAX

→具体的に協働の呼びかけあり；

NPO エコレンジャー(イベントの共催)、NPO 低炭素未来都市づくりフォーラム(連携事業)、緑のエコキャンパス(エコ商品・農作物)、NPO PV-NET(太陽光発電所)

六甲自然保護センター(県民局)

●アースパル KOBE 運営：日程表は添付参照

基本は勉強会(研究会)の運営とし、隔月(第四木曜日)の定例会または見学会を予定する。各月の1ヶ月前に「テーマ」の要請を受け、開催する。役員会は変わらず、隔月(第一月曜日)に行う。

●アースパル KOBE が関わる活動には、「活動報告書提出と謝礼金について(平成20年度改定)」に基づいた事務手続を行う。

なお、「神戸市の市民講師：活動費(¥4,000)を環境未来館より」に関しては、この規定に従わないとする役員決定がなされているが、今回お願いをしましたアンケートにて、アースパルへの一部寄付も考慮してもいいのでは？という意見も出されています。

●アースパル KOBE 事務所に関して：

現在、「インキュベーションオフィス エリンサーブ」との契約(24年度7月まで)にて、事務局・住所・会議室等に供しているが、年間「¥68,250」です。したがって、今年度は考慮する必要が出ています。

●普及・啓発活動の器材に関して：

イベント毎に器材の損傷が相次ぎ、かなりの器材が、使用不能に陥っています。この修復・追加には、検討の余地があり、また予算措置をする必要があります。皆様の知恵をお貸しください。

アースパルKOBЕ 年間計画

月	役員会		総会/会報/セミナー		定例会・研修会	
	日程 15:00～17:00	内容	日程	内容	日程	勉強会&交流会 15:00～17:00
H.24年4月	4/2(月) 第1回	総会向け資料、会報 方針・組織まとめ	4/21(土)	総会・懇親会 14:00～18:00	--	各月の1ヶ月前に 「テーマ」の要請を受け、開催
5月					5/24(木) 第1回	
6月	6/4(月) 第2回	・セミナーの方向性			--	
7月					7/26(木) 第2回	
8月	8/6(月) 第3回				--	
9月				セミナー(未定) 13:30～17:00	9/27(木) 第3回	または、9/29(土) 第3回
10月	10/8(月) 第4回				--	
11月					11/22(木) 第4回	
12月	12/3(月) 第5回	25年度事業計画			--	
H.25年1月		助成金申請、来期プロジェクト計画			1/24(木) 第5回	
2月	2/4(月) 第6回	24年度総括、来期計画、総会準備			--	
3月				第9号発行	3/28(木) 第6回	
備考・注意事項	原則として 第1月曜日				原則として 第4木曜日	勉強会・エコ見学会・